

# 高商連ニュース

高知県商工団体連合会 NO.1175(57-27)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33

TEL088-832-4838 FAX088-832-3126

Eメール ksyoren@citrus.ocn.ne.jp

ホームページ <http://ksyoren.web.fc2.com/>

このニュースはホームページでもご覧になれます



## 新年のご挨拶

高知県商工団体連合会会長 東谷勝喜

あけましておめでとうござ  
います

商工新聞読者、会員の皆さんには穏やかな新年を迎えられたことと思います。日頃の民商運動へのご理解とご協力に心より感謝を申し上げます。

昨年は7月に参議院選挙がありました。私達民商は憲法アクションが推薦する広田一氏を支援し、市民と野党の共同で当選を勝ち取るこ  
とができました。

野党の勝利で、一番早く実現可能と思っていたガソリン税を廃止することができました。しかしながら、自民党候補者の一部と全ての野党が掲げていた消費税減税は実現できていません。米価をはじめ物価高騰に対応できる施策として何としても実現させましょう。

高市政権は国民の不信を招いた裏金事件解明には全く消極的で癒着の根源、企業団体献金廃止も先送りしました。また、台湾有事を想定し、「国是」である非核三原則の見直しも容認する姿勢です。軍事費もGDP比2%の早期倍増をアメリカと約束しており、財源の一つとして27年から所得税額の1%分を増税(防衛特別所得税)する方針です。

日常対話の中で「抑止力が必要」と耳にしますが、軍事力増強のエスカレートでは、より危険度が増すばかりで平和は守れないと、私は思っています。新しい戦前と言われる中で大切なのは、あらゆる分野を通じての外交が求められるのではないのでしょうか。

民商は創立75年、一貫して「平和でこそ商売繁盛」を信条としてきました。平和を後世に引き継ぎたい、署名などを通じて声を上げていきましょう。

さて、県下7民商・県連は秋の運動で対象業者10%の復活を目指し、年末ぎりぎりまで拡大にこだわり取り組んできました。訴えに意識高く反応して声をかけられた会員の皆さんには感謝しつつも、まだまだ役員・会員・事務局全体の成果になっていません。

民商組織を存続させ発展させるには団結した総合力がどうしても必要です。大事な確定申告時期と重なりますが、つながりを生かし、足を踏み出した行動を呼びかけます。

最後に皆さんのこの1年の経営の飛躍と健康を願い、年始のご挨拶とさせていただきます。

## 対象業者比10%読者回復めざし年末まで奮闘、あと31人に迫る

12月に41人拡大  
久々の12月増勢

「10%読者回復して新年を迎えよう」という呼びかけに多くの会員、役員が応え、41人の読者を拡大し、9・98%まで迫りましたが、購読中止(毎月発生するものです)が、26人あったので9・85%にとどまりました。10%回復までは31人です。

コロナ関連で拡大が進んだ2020年、21年以来的の12月純増です。

### 香美郡

統一行動で16人拡大

香美郡民商は12月20日に拡大統一行動を行いました。行動参加者はいつもより少なかったのですが、参加できない人も拡大成果を寄せるなど、1日で16人の読者を拡大しました。東谷県連会長もお土産(読者拡大1人)を持って行動に参加しました。

年間増勢まで1人

香美郡は12月の16人拡大で年間増勢の見込でしたが、予定外の購読中止が1人出たので、年間の増減が同数(53)となり、回復どまりで増勢とはなりませんでした。

### 春の運動で

①早期の10%回復めざそう

②年度末(3月末)増勢をめざそう

## 補屋裁判 傍聴に参加しました



差戻審第7回公判が2025年12月23日13:30~16:30に行われ、全国から200人近く、高知県から東谷会長をはじめ5人が参加しました。東谷会長、竹内さん(香美郡)、岡田さん(高知)が抽選に当たり傍聴できました。

今回は脱税をしたとされる建設会社の経理担当者2名の証人尋問でした。建設会社社長夫人から「補屋に脱税を依頼していない」との発言がありました。その後、検事の反対尋問が始まったところで、体調不良を訴え、反対尋問は中止。社長夫人は救急搬送されました。証人尋問を改めて行うのか、このまま尋問が中止となるのか、また、次回公判はいつになるのか未定です。いずれにせよ、三者協議で話し合われることになるようです。

### 「救援新聞(1/5)」より(国民救援会発行)

\*一部、抜粋です

「まわりの人に恵まれた」。補屋町子さん  
と夫・祐司さんは話します。家族、親戚、弁護士、民商や国民救援会、労働組合をはじめとした支援者、学生時代のゼミの人たちなど今までお会いできなかった方がたも。「大切な財産です」。

### 背中を押して

これまでの裁判を通して、工建設の「脱税」がなかったこと、町子さんが「脱税」に関与していないこと、

支援をしている全国連絡会では「今年こそ無罪を」といっそうの支援を呼びかけています。

町子さんは、全国各地を支援に訴え歩いていきます。「何日も家を空ける」ことを心苦しく思う町子さんを、祐司さんは「これは大事なことから、ちゃんと訴えてきなさい」と背中を押して送り出します。

多くの人に支えられた「ふたり」のたかひは、無罪に向かっています。

裁判は、いよいよ大きな山場を迎えます。無罪を求める署名は39万に迫っています。